




かがみやき


 社会福祉法人あいのわ福祉会
 Social Welfare Juridical AINOWA Organization
 神明福祉作業所
 第4号
 平成30年3月9日

神明南2-6-18 TEL03-5682-5370 広報担当: 會田 発行責任者: 神田博至

わくわくイベント「ニューイヤーTHEワールド」

1月24日、2月1日の二日間で施設内わくわくイベント「ニューイヤーTHEワールド」が開催されました。今回は「世界のお正月の文化を体験しよう」というコンセプトで、施設内の各事業所ごとに作られた様々な国のお正月の文化を体験しました。中国のお正月はおみくじではなくフォーチュンクッキーを引いたり、ブラジルはサンバを踊ったりなど、日本では体験できないお正月の雰囲気を楽しまれました。福祉作業所からは「ハワイのお正月」としてココナッツの香りの中でフラダンスやコーヒーを提供しました。今でも玄関を通るとココナッツの香りやテーブルの装飾などイベントの名残があるので、来所された際にはぜひ、探してみてください。

(記・會田)



研修報告 リスクマネジメント

2月16日に施設全体でのリスクマネジメントの内部研修を行いました。今回は事故の事例を基にどうして事故が起きてしまったのか、今後、どうすれば事故を防げるようになるのかグループディスカッションをしました。一人で考えるのではなく、グループディスカッションをする事で違った視点での発想や気づきがあり、たくさんの意見が出てきました。神明では福祉園、福祉作業所、デイサービスと三事業所が同じ施設に入っている事もあり、利用者、職員の数が多いからこそ、職員の連携と意思疎通が危険防止により大事なのだと感じました。日々、グループ内で行っている業務についても見直しをし、「今までこうやってきたからこのままでいい」ではなく「今まではこうやっていたが、改善出来る部分はないか」と考えようと思いました。今後も危険防止について取り組みを行い、安心して過ごしていただけるように努めたいと思います。

(記・會田)

学生実習生 受け入れ報告

- 5月 草苑保育専門学校 1名 保育実習
- 9月 明治学院大学 3名 教員免許取得希望者介護等体験
- 10月 明治学院大学 3名 教員免許取得希望者介護等体験
- 2月 帝京科学大学 4名 保育実習

神明福祉作業所では、5月から保育実習生や介護等体験の実習生の受け入れを行っています。どの方も初めは緊張されていましたが、段々と利用者の方とも打ち解け、笑顔でコミュニケーションを取る事が出来ていました。最終日には「また来てね」と声を掛ける利用者の方もいらっしゃいました。

今後も実習生の受け入れを行い、実習で学んだことを将来的に保育者・支援員・教員として現場で活かして頂けるよう、現場だからこそ学べる事を伝えていければと思います。

(記・有山)

あおぞらグループ(就労継続B型)

自主生産品紹介

かりんグループではコーヒーやポチ袋などの製品を販売していますが、あおぞらグループでも利用者の方と協力して自主生産品の製作をしています。製作されたものは地域のお祭りやイベントなどに出店した際に販売しています。ご購入希望の方には施設でも販売を致しますので、ご連絡、お待ちしております。

(記・會田)

出店の様子



かいんグループ(生活介護)

外出紹介

2月22日に、グループ別外出で「雷おこし作り体験」に行ってきました。当日はあいにくの雪でしたが、みなさん甘～い香りの中で、楽しい体験が出来ました。そして、つまみ食いた「おこし」がとても美味しかったそうです。

帰りは浅草寺参拝をしてから、お土産を買ったり、「たいやき」、「揚げ饅頭」、「お芋のホットミルク」・・・等、食べ歩きを楽しみました。

とても寒かったけど、とっても楽しかったで～す！！

(記・杉本)



あいのわしごとセンター(就労移行支援)

今年度も終盤を迎え3月となりました。春は出会いと別れの季節。あいのわしごとセンターの利用者の方々もそれぞれの進路に向けて、具体的に動いていくこととなります。他の事業所に移る方や就職が決まった方、就職に向けて継続する方と、皆さん大きく環境が変わることになると思います。あいのわしごとセンターで学んだことを生かしてそれぞれの進路先で力を発揮してくれると思います。

3月で企業への内定をいただいた方が2名おります。今年度は合計で3名の方が一般就労しました。企業の障害者雇用に対する意識が高まる一方、働く人材の不足が課題となってきました。企業に通用する人材の育成と掘り起しを実施し、たくさんの方が企業へ進めるよう支援して参ります。

(記・門前)